


議論から合意へ「ディベート術習得講座」

1. **ネライ**： 私たちは、論理的なものや感情的なものの中で、日常の仕事をしています。ところが、単なる利害や好き嫌いの問題ではなく、ロジックの違いから意見対立が発生する場合があります。激しい議論を避けるわけにはいきません。適切に議論しないと譲歩を重ねて信頼を失い、ひいては人間関係をダメにする可能性も出てきます。

本研修は、論理的なものに関わる場所だけに絞り、その能力を強化します。議論によるコミュニケーション力を高める必要がある人のための能力開発の場です。

2. **対象**： 営業部員、事故処理担当、企画・経営スタッフ

3. **カリキュラム**： (研修日数： 2日)

研修メニューに戻る場合は、左上のブラウザの戻り矢印  をクリックしてください。

	研修内容	研修の方法
第一日	1. オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> 相手の言い分、感情と論理のどちらを尊重するのか 水掛け論と議論の違いはどこから生まれるのか 	情報提供
	2. ディベートとは <ul style="list-style-type: none"> 問題を共有化でき解決策を合意できて、ディベートできたという ディベートの3能力とは、その開発には ★自分の感情と思考レベルとディベート傾向を知ろう 	情報提供 自己診断
	3. 論理的思考を強化する <ul style="list-style-type: none"> 論理的思考の構造とは 論理的思考を強化するトレーニング法とは ★思考ピラミッド法により、主張の根拠を作る 	情報提供 演習 ロールプレ

	研修内容	研修の方法
第二日	<p>4. ディベート試合で鍛える</p> <p>①「論題」の選定 ②「立論」するポイント ③「尋問」するポイント ④「反駁」するポイント ⑤「審判」による判定 ☆論題を選び、立論をしよう</p> <p>5. ディベート試合1</p> <p>☆論題に対し、肯定側グループと否定側グループに分かれて、議論をする。次いで、審判グループがディベート勝敗を判定する。</p> <p>ディベート試合2</p> <p>☆論題に対し、肯定側グループと否定側グループに分かれて、議論をする。次いで、審判グループがディベート勝敗を判定する。</p> <p>ディベート試合3</p> <p>☆論題に対し、肯定側グループと否定側グループに分かれて、議論をする。次いで、審判グループがディベート勝敗を判定する。</p> <p>振り返りとまとめ</p>	<p>情報提供</p> <p>演習</p> <p>演習 ロールプレ</p> <p>演習 ロールプレ</p> <p>演習 ロールプレ</p>